

# <別表Ⅰ> 第20回神奈川県障害者スポーツ大会競技・種目表

## 1. 陸上競技

◎男女別・年齢区分別

▲男女別・年齢区分なし

△男女混合・年齢区分なし

				区分 番号	障害区分	競走						跳躍			投てき				
						50 m	100 m	200 m	400 m	800 m	1500 m	スラローム	4×100 mリレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎				◎				◎	◎	◎	◎	◎	
			2	両前腕切断または、片前腕および片上腕切断 両上肢不完全	◎	◎						▲	◎	◎					
			3	両上腕切断または、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎					
		下肢	4	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			5	片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			6	両下腿切断	◎	◎							◎		◎	◎	◎		
			7	片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	◎								◎		◎	◎	◎		
			8	両大腿切断または、両下肢完全											◎	◎	◎		
	体幹	9	体幹	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎			
	2	脳原性麻痺 車いす常用、使用以外で	10	第6頸髄まで残存	◎	◎					◎							◎	
			11	第7頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎	◎							◎	
			12	第8頸髄まで残存						◎	◎				◎	◎	◎		
			13	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎						◎	◎	◎		
			14	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎		
	3	(脳性麻痺・脳外傷等) 脳原性麻痺・脳血管疾患	15	その他の車いす		◎	◎		◎	◎						◎	◎	◎	
			16	四肢麻痺で車いす使用	◎						◎							◎	
			17	けって移動	◎						◎							◎	
			18	片上下肢または、片上肢で車いす使用	◎						◎					◎	◎		
			19	上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			20	その他走不能											◎	◎	◎		
			21	上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
	22	その他走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎				
	4		23	電動車いす常用							◎							◎	
視覚障害			24	視力0から0.01まで	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎		
			25	その他の視覚障害	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能障害、音声言語・そしゃく機能障害			26	聴覚障害	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎		
知的障害			27	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	▲	◎	◎		◎	◎	
内部障害			28	ぼうこう又は直腸機能障害	◎					◎				◎	◎		◎	◎	

※ 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。ただし、指数弁は「0.01」、手動弁～光覚弁は「0」として判定する。障害区分24は光を通さないアイマスクまたは、アイシェードを装着する。

## 2. 水 泳

身体障害 ◎1部・2部 ○1部 ●2部

知的障害 ◎女子・男子（3年齢区分）△男女混合・年齢区分なし

				自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		4×50m メドレー リレー	4×50m メドレー リレー
		区分 番号	障害区分	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m		
肢体不自由	1	上肢	1 手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			2 片前腕切断または、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			3 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			4 両前腕切断または、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			5 両上腕切断または、両上肢完全 片前腕および片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		下肢	6 片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			7 片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			8 両下腿切断または、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			9 両大腿切断または、両下肢完全 片下腿および片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		上下肢	10 片上肢切断および片下肢切断 片上肢不完全および片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
			11 多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		体幹	12 体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	2	で車いす常用 脳原性麻痺以外	13 第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎					
			14 第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			15 下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			16 下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	3	(脳性麻痺・脳血管 疾患・脳外傷等)	17 四肢麻痺（車いす常用）または、 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎					
			18 両下肢麻痺または、 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			19 片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎			
			20 その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			21 その他走可能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	4		22 浮具使用	◎	◎	◎		◎					
視覚障害		23 視力0から0.01まで		◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		24 その他の視覚障害		◎	◎	●	○	●	○	●	○		
聴覚・平衡機能障害、音声 言語・そしゃく機能障害		25 聴覚障害		◎	◎	●	○	●	○	●	○		
知的障害		26 知的障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△

※ 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。ただし、指数弁は「0.01」、手動弁～光覚弁は「0」として判定する。障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

### 3. アーチェリー

●男女別

		区分番号	障害区分	リカーブ		コンパウンド	
				50m・30m	30m・30m	50m・30m	30m・30m
肢 体 不 自 由	脳原性麻痺以外で 車いす常用	1	第8頸髄まで残存	●	●	●	●
		2	その他の車いす	●	●	●	●
	切断・機能障害	3	上肢障害	●	●		
		4	下肢障害(椅子、車いす使用を含む)	●	●		
		5	体幹	●	●		
	脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等)	6	脳原性麻痺 (椅子、車いす使用を含む)	●	●		
聴覚・平衡機能障害 音声・言語・そしゃく機能障害		7	聴覚障害	●	●	●	●
内部障害		8	ぼうこう又は直腸機能障害	●	●		

### 4. 卓 球

◎男女別、年齢区分別 ●男女別

			区分番号	障害区分	卓 球	S T T
肢体不自由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断または、両下腿切断 片下肢完全または、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	◎	
		体幹	6	体幹	◎	
	2	脳原性麻痺以外で 車いす常用、使用	7	第8頸髄まで残存	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺・脳血管疾 患・脳外傷等)	10	車いす使用	◎	
			11	杖または、松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害			15	アイマスクまたは、アイシェードあり		◎
			16	アイマスクまたは、アイシェードなし	◎	
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語・そしゃく機能障害			17	聴覚障害	◎	
知的障害			18	知的障害	◎	
精神障害			19	精神障害	●	

※ 視力・視野の程度に関わらず、アイマスクまたは、アイシェードの有無で出場競技を分ける。

障害区分 15 は光を通さないアイマスクまたは、アイシェードを装着する。

### 5. フライングディスク

◎男女同一区分 ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座 位	立 位
肢体不自由	◎	◎	●	●
視覚障害				
聴覚障害				
知的障害				
内部障害 (ぼうこう又は直腸機能障害)				

## 6. ボッチャ

◎男女混合・年齢区分なし

		区分 番号	障害区分・解説	競技スタイル	
				立位	座位
肢体 障害	1	切断・ 機能障害	1 多肢切断 両下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全 【解説】上肢・下肢の4肢のうち3肢体を切断し義足等を使用して立位で競技する者、もしくは脳原性麻痺以外で下肢の3大関節（股・膝・足関節）全てに機能障害があり、長下肢装具を使用して立位で競技する者	◎	
	2	脳原性麻痺 以外で車いす 常用、使用	2 第6頸髄まで残存 【解説】肩関節周辺の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者（肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常）		◎
			3 第7頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者（肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない）		◎
			4 第8頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者（把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない）		◎
			5 多肢切断 【解説】上肢・下肢の4肢のうち3肢体以上を切断し、車いすや椅子に座った姿勢で競技をする者		◎
	3	脳原性麻痺 （脳性麻痺、 脳血管疾患、 脳外傷等）	6 四肢麻痺で車いす常用または、使用 【解説】四肢に可動域制限や協調運動障害がある者で両上肢駆動による車いす使用者		◎
			7 けって移動 【解説】両上肢の障害が重度のため両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者		◎
			8 片上下肢で車いす常用または、使用 【解説】片側障害で、動かすことができる側の上肢と下肢で車いすを操作する者		◎
			9 その他走不能 【解説】杖や下肢装具等の使用の有無に関わらず、走ることが不可能な者	◎	
	4		10 電動車いす常用 【解説】脳原性麻痺や脳原性麻痺以外の四肢麻痺者で、日常的に電動車いす（JIS T9203）を使用している者		◎

※ 座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

座位で競技する選手（区分2～8および10）で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。

立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

## 7. ボウリング

知的障害者で男女別、年齢区分別に実施する。

※ 本表は「全国障害者スポーツ大会競技規則集」に基づく。